# 活動のあゆみ History of Environment & Safety Committee

**'68 製薬協設立 周辺技術連絡会**

製薬協の設立と同時に、工場周辺の環境問題（当時は主として排水問題）に対する技術的検討を目的に「周辺技術連絡会」を設立しました。
当時の公害関係法の制定・改訂を受けて、公害の現状と対策、排水の汚泥処理、大気汚染および水質汚濁の防止対策、用排水の高度浄化技術などの検討を行ってきました。

**'78 工場排水規制処置検討会**

「工場排水規制処置検討会」を設立しました。

**'79 環境対策検討会**

「環境対策検討会」を設立し、関係官庁と密接に連絡し、当該行政の伝達及び業界の意向を関係官庁に具申するとともに業界内相互の情報交換を行い、会員相互の環境対策の確立に寄与してきました。

**'96 環境委員会**

「環境委員会」を設立し、環境委員会の中に5部会（企画部会、化学物質部会、環境マネジメント部会、省資源・廃棄物対策部会、省エネ・温暖化防止部会）を設け、地球環境問題に対し製薬産業として体系的な取組みを行ってきました。

**'99 製薬企業環境自主行動指針 環境報告書発行**

1997年に発行した「製薬協企業行動憲章」と「企業行動憲章実行の手引き」をもとに、製薬企業の環境問題への取るべき行動を明示した「製薬企業環境自主行動指針」を作成しました。
また環境委員会の活動をまとめて、第1回環境報告書を発行しました。

**2001 4部会制**

環境委員会内の部会の見直しを行い、より効率的な委員会の運営を目的に、4部会（化学物質管理部会、環境マネジメント部会、省資源・廃棄物対策部会、省エネ・温暖化防止部会）にスリム化しました。また「企画会議」を新設し、タイムリーに重要・緊急事項の検討を行うとともに、部会活動の支援も行うことにしました。

**2002 環境安全委員会 研究会制**

「環境安全委員会」に名称変更し、「地球環境問題」だけでなく、化学物質の安全管理をはじめとして、環境と密接な関係のある「労働安全衛生」にも取り組むことにしました。また、従来の部会の枠組を越えた活動をする場として「研究会」を発足させ、時代を先取したテーマや将来のあるべき姿等について検討・研究することにしました。

**2003 組織の簡素化**

活動の合理化・効率化の一環として、連絡担当者会社を委員会社に統合し、組織の簡素化を図りました。

**現在に至る**